

1. ウーマノミクスで経済活性化塾開催事業

2. 女性も幸せに暮らし働ける山形県の魅力の創出・発信事業

3. ビジネスウーマン交流会開催事業

4. やまがたイクボス同盟活動関係事業

5. 男性の家庭参画推進事業

6. 地域女性活躍応援事業

(1) 最上地域: 社会参加に向けた講座の開催

(2) 置賜地域: 女性活躍を推進する企業によるセミナーの開催

(3) 庄内地域: 多様な働き方をしている女性等の情報発信

7. やまがた女性のつながり緊急サポート事業

# 1. ウーマノミクスで経済活性化塾開催事業

## 事業概要

企業における女性活躍を推進するため、女性をはじめ、誰もが働きやすく、能力を発揮できる職場づくりに向け、アンコンシャス・バイアスへの対処法を学び、自社での実践につなげる2回の連続講座(オンライン開催)

## 開催実績

■対象:企業・団体の管理職、人事・労務担当者等

<第1回>R4.1.24(月)

講義「アンコンシャス・バイアスへの対処法」

ケーススタディ・グループワーク「職場でのバイアスを知る」

<第2回>R4.2.21(月)

講義「行動経済学からバイアスを克服する」

ワークショップ「自社で取り組みをするための行動デザイン」

※第1~2回の間で、自社の3名以上に伝達研修を行い、その現状を把握するワークを実施



## 事業目標

(目標)参加者数:延べ200人 ⇒ (事業実績)延べ93人

## アンケート結果・参加者からの声

・受講者アンケートでは、96.1%が有意義と回答

[参加者の声]・アンコンシャスバイアスの考え方が弊社の課題解決のヒントになると確信した。

・いろいろな方(性別・年齢・職種・立場など)と実際に会話し、有意義だった。

## 2. 女性も幸せに暮らし働ける山形県の魅力の創出・発信事業

### 事業概要

若年女性の県内定着・回帰に向け、県内外の女性からやまがた暮らしについての意見・ニーズを聞き取り、女性も活躍できる環境づくりに活かす意見交換会「オンライン100人女子会」の開催

### 開催実績

R3.9.26(日) オンライン開催

#### 【オンライン100人女子会】

■参加者: 県内外の女性(学生を含む) 102名

#### ■内容

(1) オープニングセッション【わたしとやまがた暮らしの“過去”“現在”“未来”】

コーディネーター: 井東敬子氏(鶴岡ナリワイプロジェクト 代表)

(2) グループトーク【わたしたちの明るい未来のために】

3つのテーマ(①仕事や働き方 ②暮らし、家庭生活

③地域)について、少人数のグループで意見交換

(3) 総括セッション



### 参加者のやまがた暮らしに関する主な意見

- ・人とのつながりに楽しさや安心感がある反面、窮屈に感じる時がある
- ・いまだに冠婚葬祭や町内会など皆が集まる宴席で女性だけが働いている姿を見かける

### 事業KPI

(KPI)参加者アンケートによる満足度: 70%以上 ⇒ (事業実績) 100%

### アンケート結果

- ・参加前よりも「山形県で暮らし働くこと」に対して希望を感じるようになったと回答した割合74%

### 3. ビジネスウーマン交流会開催事業

#### 事業概要

県内で働く女性等が交流し、悩みや課題を共有することで、モチベーションアップや意識改革につながるとともに、県内で働く中長期的なキャリア・ライフイメージを持ってもらう(オンライン開催)。

#### 開催実績

R4.2.4(金) オンライン開催

■ 対象: 県内で働く女性等(学生も可)

・第1部【パネルディスカッション】

《パネリスト》

石田真澄氏(株式会社寒河江商店 代表取締役)

工藤佐規子氏(株式会社olive 取締役)

鈴木陽子氏(ホテルメトロポリタン山形 営業統括グループ次長)

《テーマ》「ワタシらしい働き方～これが私の生きる道～」

・第2部【グループワーク】

ファシリテーターを設置し、6つのテーマで実施

①アンガーマネジメント②管理職ってどう?③傾聴スキル

④コミュニケーション⑤プレゼンテーション⑥社会人基礎力

・第3部【オンライン交流会】



#### 事業目標

(目標) 参加者数: 70人 ⇒ (事業実績) 70人

#### アンケート結果・参加者からの声

・第1部～第3部いずれも、「大変有意義」「有意義」と回答した参加者の割合が9割を超えた。

・「失敗を恐れず挑戦しようと思えた」「他業種の人との貴重な交流の機会」などの声が多数。

## 4. やまがたイクボス同盟活動関係事業

### 事業概要

トップセミナーの開催などで経営者層にイクボスを普及・浸透することで、①長時間労働の是正、②働き方の多様化、③男女共同参画などを推進することにより、女性も男性も働きやすい職場を増やしていく。

### 開催実績

R3.11.16(火)開催

■対象:経営者、管理職、組織のリーダー等

○基調講演

《講師》山口 周 氏(独立研究者、作家、パブリックスピーカー)

《演題》「ウイズコロナ時代に求められるリーダーの力」



### 事業目標・KPI

(目標)参加者数:100人⇒(事業実績)162人

(KPI)参加者アンケートによる満足度:70%以上⇒(実績)100%が「満足」「やや満足」と回答

### アンケート結果・参加者からの声

- 人を変えようとする前に、まず自分自身が変わるべきだと気づかされた。
- 組織を変えたいと思っており、どうしたらよいかと日々考えていたが、今回のセミナーを通して心のどこかで考えていたことが腹落ちした。行動に移すきっかけになりそう。



## 5. 男性の家庭参画推進事業

### 事業概要

改正育児・介護休業法の成立等、男性の育休取得を促す動きが加速する中、当事者である男性職員の意識啓発と職場の理解向上のため、男性育休取得の意義を啓発する連続3回のオンラインセミナーを開催。また、企業向けデジタルリーフレットを作成(3月)。

### セミナー開催実績

■対象:企業・団体の管理職、人事・労務担当者、子育て期の男性職員等

(第1回)「会社も男性も必見の『男性育休虎の巻』」(R3.10.14(木))

講演、参加者意見交換

(第2回)「男性育休 先進企業の取組みに学ぼう！」(R3.10.26(火))

講演、先進企業・団体の事例及び育休取得男性の体験談紹介、参加者意見交換

(第3回)「男性育休取得でワークとライフをアップデート」(R3.11.4(木)、19(金))

講演、受講者によるワークショップ ※子育て期の男性のみを対象とし、同一内容を別日程で開催



### 事業目標

(目標)参加者数:延べ100人 ⇒ (事業実績)延べ139人

### アンケート結果・参加者からの声

・受講者アンケートでは、88%が有意義と回答

[参加者の声]・男性育休の意義・必要性の理解が深まり、男性社員に積極的に取得させるべきものと考えが変わった。

・ここまで世の中が変わっているのかと驚いた。社内での啓発のモチベーションが高まった。

## 6. 地域女性活躍応援事業(最上地域)

### 事業概要

最上地域における女性活躍の意識醸成を促し、女性が地域社会の中で誇りを持って活躍することができるよう、企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランスを推進し、後押しするため、企業の管理者等を対象にした研修会を開催。

### 開催実績

R4. 2. 16(水)開催

■対象:最上地域の企業の管理者(経営者、人事部門担当者)、  
女性管理職、管内福祉施設等職員、行政機関担当者など

《講師》伊藤 真知子 氏

(山形県男女共同参画センター「チェリア」館長)

《演題》職場を活性化するダイバーシティ経営  
～女性活躍が必要な理由(わけ)～

### 事業目標・KPI

(目標)参加者数:20人 ⇒ (事業実績)43人

### アンケート結果・参加者からの声

- ・「アンコンシャス・バイアス」を解消するための方策が具体的にイメージできた。
- ・基本的概論から組織や個人への応用編まで短時間に凝縮され、自身の振り返りや組織経営に生かせそうと前向きに思うもので、無理なく自分らしく取り組めそうで大きな学びになりました。
- ・具体的な事例(駄言やケースなど)を御紹介いただき、身近な問題として感じる事ができました。
- ・ダイバーシティの重要性、偏見や思い込みといった偏った考え方の判断基準の難しさを感じた。

令和3年度  
企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランス推進研修会

### 職場を活性化する ダイバーシティ経営

～女性活躍が必要な理由(わけ)～

2022年  
2月16日(水)  
10:00-11:30  
Zoomによるリモート開催

参加に際しての留意事項  
本セミナーは無料ですが、Zoomをインストールしたパソコン・スマートフォン・タブレット等が必須となります。予めご確認ください。また、申込みは、FAX又はWEB申込みとなります。参加料は無料ですが、データ通信料は参加者の負担となりますので、ご了承ください。

講師プロフィール  
山形県男女共同参画センター「チェリア」館長  
伊藤 真知子(いとう まちこ)氏  
東北公益文科大学名誉教授、国立女性教育会館事業課研究員、東北公益文科大学教授を経て、2021年4月から現職。山形県男女共同参画推進委員会、山形県男女共同参画推進懇話会会長、酒田市女性活躍推進懇話会委員長など。2016年度男女共同参画社会づくり功労賞総理大臣表彰受賞。近著に、「ジェンダーと生涯学習」(山形県生涯学習センター広報誌『生涯学習やまがた』vol.22)、「地方の若年女性の抱えるモトモト」(『2021 日本女性学』財団法人発行『月刊We Learn』vol.812)、など。

申し込み(FAX)お問い合わせ  
WEB申込み

最上総合支庁子ども家庭支援課  
新庄市金沢字大通上2-0-34  
FAX: 0233-22-1311  
TEL: 0233-29-1221

## 6. 地域女性活躍応援事業(置賜地域)

### 事業概要

ワークショップや交流会等により女性同士で意見交換を行い、横のつながりを強化することで、働く女性の意識向上や若者の地元への定着を図る。

### 開催実績

R3.11.13(土)開催



### 置賜版オンライン女子会

- 対象: 置賜在住や置賜にゆかりのある女性
- ファシリテーター・講師: 合同会社work life shift 代表 伊藤 麻衣子 氏
- 第1部 キーノートスピーチ(講演)「仕事もプライベートも諦めない毎日のために」
- 第2部 ワークショップ「職場でも家庭でも自分らしくあるためのコミュニケーションとは？」
- 第3部 交流タイム「職場や家庭での悩みや「あるある」について共有し、交流を深めよう！」

### 事業目標

(目標①) 参加者数:15人 ⇒ (事業実績) 16人

(目標②) 参加者アンケートによる満足度:80%以上 ⇒ (事業実績) 100%

### アンケート結果・参加者からの声

- ・幅広い年代の方と交流することができ、とても良い機会になりました。他業種の女性の方とお話する機会があまりないので、これからも交流を続けていけたらと思います。
- ・社会人になってからは新たに誰かと知り合うことはほぼなくなってしまったので、置賜に住む方々との会話やつながりを持てたのは嬉しかったです。



## 6. 地域女性活躍応援事業(庄内地域)

### 事業概要

ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業や、多様な働き方をしている女性について、子育て世代が多く閲覧するサイトに掲載するとともに、リーフレット等を活用して周知する。

### 取材先

○ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業

①社会福祉法人道形保育会

休暇やリフレッシュ、学びなどの機会を重視している企業

②株式会社小松写真印刷

より良い仕事環境のため、個々の希望に柔軟に対応している企業

○多様な働き方をしている女性

③子育て後に出会った「やってみたいこと」を実現した女性を取材

取材にまつわるエピソードは

【庄内子育て情報サイト TOMONI】

でも紹介中！



### 事業目標

(目標) 記事閲覧数: 200件/1記事 ⇒ (事業実績) 記事①274件、②244件、③270件(R4.2.24時点)

### 事業の効果

- ・同じ庄内の企業の身近な事例であるため「ワガコ化」になり、具体的な取り組みであるため取り入れやすくアクションにつながる。
- ・子育て支援サイトで情報を発信することにより、妊娠・出産で働き方を変えようと思っている女性に情報を届けることができる。

企業でのワークライフバランスの実践や  
女性の自己実現できる働き方の意識醸成につながる

## 7. やまがた女性のつながり緊急サポート事業

### 事業概要

長期化する新型コロナの影響で不安や悩みを抱える女性に、寄り添ったきめ細かい対応を進めていくため、相談体制の充実と女性同士のつながり支援の強化を図る。

### 開催実績

#### ■ 県男女共同参画センターの相談機能の強化

- ・女性を対象にした専門家による「こころの相談」を第1・3・5土曜に実施 実績:5名(R4.1末時点)
- ・集中相談期間の実施(8月・10月) 実績:7名

#### ■ 孤独・孤立や不安を抱えた女性に対する支援体制の強化

- ・県内各地のNPO等と連携し、コース毎に女性に対する支援を提供 計27団体
- コースⅠ(4団体):居場所づくり、ピアサポート、生理用品の無償配布
- コースⅡ(12団体):ピアサポート、生理用品の無償配布
- コースⅢ(11団体):生理用品の無償配布



### 事業目標

(目標) 支援提供団体数:34団体 ⇒ (事業実績)27団体

### アンケート結果・参加者からの声

- ・アンケートでは、約18%が過去1年以内に生理用品が必要であるにも関わらず、生理用品を購入できなかったり、ためらったことがあると回答(R4.2.18時点)
- ・また、「生理用品のトイレへの備え付け」や「気軽に相談できるところ」の支援を求める声が多数。